

福壽清二 牧山弘 中道亮 三浦松 梶原生 磯井二 淺井謙 高壽男 浦隆行 坂西一郎 玉井與助 中川篤治 田口董二

宮尾竹三郎 池田金治 森安巖 小金澤竹男 東工下谷淺草支部 日浦和一 赤坂支部 安川省三 奧山勇吉 淀橋支部 西村信太郎 窪田菊次 齋藤肇

拓植三男 品川支部 下谷支部 貯金局經理課支部 麴町支部 世田谷支部 廣島土生支部 松本輝光 池田靜吾 固山千之助 石原神策 名古屋中央支部 西原清盛

爭議部報告

本年度に於ける爭議は其の悉くが戦線の擴大に連れて一部頑迷なる當局幹部の之を壓迫破壊せんとする暴舉に對する組合自體の正當防衛の立場によつて行われしものであつた
概して有利に解決したと同時に多くの爭議試験を積んだ
先ず其の主なるものを擧ぐれば
修養團運動を通じて異動、千住、三田等の支部に加へられた當局の陰險なる組合切り崩しの所謂修養團問題と

(一)「修養團」問題

(原因)
左翼運動干渉に籍口し京都中共局支部結成を阻止せんとして遂に主眼者の不當解雇の暴舉に出でた所謂京都問題等である
昨年十月東京選信局吉村事務官等が集鴨局傭人石井米吉、鈴木秀作等を使喚して同支部切崩しを圖り千住支部幹部芳賀、外二君等自宅に招致し撤背支部解雇を勧告し三田支部幹部西脇其の他を之又同一方法によつて行いし、組合切崩し運動に端を發したものである
(經過)
即ち爭議部は徹底的に抗爭すべく全支部に指令する一方十月十七日左の如き聲明書を發した

聲明書

近來東京選信局吉村事務官が我が選友同志會各支部に對し修養團運動を濫用しあらゆる不法手段を弄して組合破壊の策動に出でつゝあるは明かな事實である、之れ東京選信局の方針と認むべきであつて我等は社會政策を口にする現内閣の下に斯くの如き驚くべき反動政策の行われつゝあるは最も遺憾とするものである、我が選友同志會は最も健實なる指導精神に立脚し今日迄で飽く迄合法的運動を續けて來たのにも拘らず選信當局が反動的手段によつて我が組合を破壊せんとするは實に言語同斷である

我等は選信大臣に向つて吉村事務官の行動の是非を質問し若し選信大臣にして選信部内の平和を擾亂し労働組合の健全なる發達を阻害する吉村事務官の不法行爲を庇護するが如きことあらば我等は組合破壊の暴舉に對する正當防衛として已むを得ず最後の手段に訴へ死力を盡して抗爭せんとするものである

要求

(一)吉村事務官の彈劾